

令和5年東谷区防災訓練

訓練概要

日時：令和5年10月15日（日）9時～11時30分

目的：区民全員の避難訓練を実施し、避難経路の確認を行うとともに、各班が連携協力して災害発生のおそれが高まった時の初動体制の実践及び検証を行う。

訓練想定：福井県では発達した雨雲が次々と流れ込み、嶺北で線状降水帯による激しい雨が同じ場所で降り続けている。南越前町南条地区において1時間に80ミリを超える大雨が観測されたところにより、南条地区に大雨警報（土砂）【警戒レベル3】、土砂災害警戒情報【警戒レベル4】が発令され、土砂災害のおそれが高まったという想定で、町から高齢者等避難、避難指示の情報に基づき区民避難訓練を実施する。

訓練内容1

- 区民避難訓練
避難者受付



一時集合場所受付の様子



広域避難所受付の様子

訓練内容2

- 初動対応訓練
《情報伝達避難誘導班》
災害時要援護者安否確認



要配慮者宅から避難所への搬送の様子



要配慮者を避難所内へ移動する様子

- 《消防・救助班》
区内巡回パトロール、救助訓練



巡回パトロールでの逃げ遅れ者がいないか確認の様子



負傷者を担架に乗せて搬送する様子

- 《衛生救護班》
応急手当



足を怪我したとの想定での応急手当の様子

- 《生活班》
炊出し



非常食を使った炊出しをしている様子

- 《伝達訓練》



各班長が会長に状況報告

活動の成果と今後の取り組み

当防災会は、万が一の災害に備えて、「自分たちの地域は自分たちで守らなければ・・・」という思いから組織を立ち上げました。

今回の訓練では各班の役割を決め訓練を実施しました。

それぞれの班で実際にどのようなことをしなければならないのかについては、概ね理解することができましたが、私たちの集落の人口は約150人で、加えて高齢化率が高いことから、最初からある程度役割を決めておく必要はあると思いますが、区民全員がいざ災害が起きた時に、今何をしなければならないのかを考えなければならないと感じました。

公助の手が差し伸べられる前段階の自助、共助において、地域の中でどれだけのことができるのかを、今後毎年1回の防災訓練を通じて実践していきたいと思っています。

法寺岡区 防災だより (法寺岡自主防災会)

【概要】

- ・ 法寺岡自主防災会が防災だよりを区民に配布。
- ・ 3年前から実施しており、年4回を目標に区内の全世帯に配布。

【目的】

防災情報を共有することで、一人ひとりの防災意識の向上を図られると共に、活動や情報を共有することで互いに繋がりを持ち、地域コミュニティの強化を図る。

【活動内容】

別添のとおり

【成果と展望】

紙面にて防災情報の確認や防災活動の振り返りを行うことで、訓練後も内容を深めることができ、理解度が増した。区民が共通の意識を持つことで、今後の防災活動が広がると共に瞬時に防災活動に着手できる体制づくりに繋げていきたいと考えている。

法寺園防災だより

巻 号
発行年月日
令和6年1月7日
編集発行
法寺園自主防災会

新年おめでとーございます

例年であれば、おめでとーのことばが普通でしたが、今年、これがあまり大きな声で言えなくなってしまいました。

元旦早々石川、富山、福井、新潟で地震が発生し、多くの人々が亡くなったり、避難所生活などで困窮しています。私たちの所でもかなりのゆれを感じました。幸い昨年防災訓練で行った、簡易トイレを作るようなことはありませんでした。

私たちは、災害と災害の間で生活していることを自覚しよう

昨年「この暑さいつまで続くんやろ。」こうつぶやきながら、毎日を過ごしてきた夏、しかも秋が極端に短く、暑い日と寒い日が交互にやっつき

て着る服も迷うようなおかしな気候でした。

そうこうしているうちに、暦は十二月になり、体は夏の暑さを忘れ、暖かさをこいしく思うようになりました。

さて、暑さが三十度位でそれほどでもないと思うようになつたり、一ヶ月分の雨が短時間で降つたり、確実に地球は変化してきています。これは、われわれ人間が、地球温暖化をまねく生き方をしてきた結果です。過ごしやすい時は、災害と災害の間の、ほんのひと休みだと思えます。

新年から暗い話になつてしまいました。それでも私たちは、昔から災害をのりこえてきました。これからも、災害に備える生活をおくりたいものです。

自主防災会より

向かいの山に三度雪が白く積もつたらいよいよ里にも雪が降ってくる。ちいさいころからそう親から教えられて育ちました。昨年は、初雪でいきなりのドカ雪で驚きました。次の雪のために、食料品、燃料等備えておきましょう。



防災お役立ちコーナー その六 食事後の口腔ケア について

前回まで避難所での口腔ケアについてお伝えしましたが、引き続き考えてみたいと思います。以下日本歯科医師会の資料からお伝えします。

肺炎を防ぐために 歯磨きを

・お口が清潔でないと細菌が増殖し、肺炎になりやすく全身の病気の悪化につながります
・高齢者は特に注意が必要です。

入れ歯をきれいに して肺炎を防ぎましょう

・お口を清潔に保つには入れ歯のお手入れが大事です。
・食後に入れ歯をきれいにしましょう
・夜寝るときは入れ歯をはずしましょう

ハブラシがないとき

・食後に少量の水やお茶でうがいをします
・ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果があります



だ液を出す工夫を

・だ液はお口の中をきれいに保つはたらきがあります。
・耳の下、ほお、あごの下を手でもんだり、あたためると、だ液が出やすくなります



歯科医の方々も「歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！」と言っています。どれか一つでも皆さんの知識になれば幸いです。



法寺岡防災だより

巻 号
発行年月日
令和6年6月9日
編集発行
法寺岡自主防災会

春の防災訓練

お疲れさまでした

4月7日社会奉仕の後春の防災訓練で、放水訓練とバケツリレー、非常食の試食が実施されました。

過去にも実施したことがありましたが、忘れてしまったこともあり、日頃の訓練が大切だと思いました。

訓練では、消防署の方から消火栓と消火用ホース格納庫の中に何が入っているか、消火栓の開け方など説明をうけました。



放水訓練の様子



分散避難のために
キャンピング用品?!

三月十六日会議で、避難のための資器材としてキャンピング用品の話が出ました。テレピなどを見てみると、避難と言っても指定の場所とか、

自主防災会より

先日、梅雨の時期を迎えるにあたり水防訓練がありました。少しばかり土のうをもらってきました。ご希望の方はご連絡ください。それと、防災会の緊急連絡網と防災班の体制について、今回一緒に配布いたします。

空いている旅館、農業用ハウス、ワンボックスカー等で生活したり、いろいろな方法が考えられています。旅館や指定の避難所は、ある程度の生活は出来ると思いますが、それ以外の方法となるとなかなか難しいと思います。レジャーとしてのアウトドアなら楽しいのですが、避難となるとそんな訳にはいきません。

分散避難



防災倉庫の設置について

資器材の話が出てきたので、ついでに防災倉庫についてお知らせがあります。防災倉庫については、購入資金を少しずつ貯めるとともに、設置場所等いろいろと模索してきましたが、購入資金については来年度には目処がつきそうです。また、場所については、松原一誠さん敷地内の防火水槽の上に設置できる目処が付きました。

防災お役立ちコーナー

今回は紙面の都合上お休みさせていただきます。

法寺岡防災だより

夏号
発行年月日
令和6年8月18日
編集発行
法寺岡自主防災会

救命救急訓練

お疲れさまでした

七月二十八日社会奉仕の後、救命救急の訓練を実施しました。今回は、訓練で習った内容を、いくつかのポイントに分けてお伝えします。

①熱中症について

猛暑で、エアコンを使いましようという事が毎日言われていますが、電気代が心配になります。でも、エアコンを终日使った場合は、古い機種でも五百円まで、新しい機種では百円ちょっとというデータもあります。一方、熱中症になって入院すると、少なくとも五万円程度の医療費がかかるそうです。



①熱中症について
なりませす。
次に水分を取りましようよく言われます、喉が渴いたと感じてからでは遅く、早め早めで水分を取るのが大切です。また、飲むものは、経口補水液(OS-1)、スポーツドリンク、麦茶などで、カフェインを含んでいないものがいいそうです。
ちなみに、経口補水液は熱中症になっていると、飲んだときにおいしいと感じるそうです。

②人が倒れた時の対応

・肩をたたくて意識の有無を確認する。
・119番へ連絡し救急車を要請する。
・AEDを持ってきてもらおう。
・呼吸の有無を確認

以上をすばやく行います。次に呼吸がないと確認できたらすぐに胸骨圧迫を始めてください。
要領は写真Aを参考にしてください。
倒れた人の横に立ち膝になり、腕をまっすぐに伸ばし、手の真上に肩が来るような体勢を取り真上から圧迫します。
圧迫する位置は、乳首と乳首の真ん中です。
胸骨が5cm沈む位圧迫します。
テンポは、1分間に110回くらいです。(もしもし亀よ亀さんよの歌のテンポ

自主防災会より

七月二十八日は、早朝から社会奉仕に続いて防災訓練とお疲れ様でした。地震が次から次へと起こっています。災害は止めることが出来ませんが、備えることは出来ます。日頃からの準備をくれぐれもお願ひします。

で圧迫します。) ※結構きつい作業なので、できれば複数人で交代して行います。



写真A
AEDが到着したら、すぐに準備にかかります。
AEDの操作についてはそれほどむづかしいものではありませんが、いくつか注意する点があります。

・AEDを倒れている人の頭の近くに置く
・倒れた人が、女性の場合人目に配慮する

説明は裏面に続きます

・ペースメーカーを付けている人は、その場所を避けて貼る(ペースメーカーがある)とその場所がふくれてい(ま)す。)

・汗をかいているときは、きれいに拭くなどです。

AEDの操作手順は、最初に電源を入れると、音声の流れ、次に何をするかを指示してくれます。

当日の訓練の様子を振り返ってみると、音声の指示を聞かずに次々と準備をして、間違っ(た)人もいたようです。まずは落ち着いて、AEDの音声を聞くことが大切です。AEDの指示に従って、電気ショックが完了すると、直ちに胸骨圧迫を再開するよう指示されます。これは、救急隊に引き継ぐまで行って下さい。



③ 出血した時の対応

ケガなどで出血した時には、まず傷口を、水などで洗って圧迫して止血します。細かいひもなどで強く締め付け過ぎると、組織が壊死したりするので注意が必要です。

④ のどに食べ物がつまった時の対応

のどに物がつまると、たい(てい)の人はイラストのような姿勢をとります。その時は、救急車を呼び、待つ間に次の方法を試します。



① 背部叩打法



① 背部叩打法(はいぶこうだほう)は、頭を体より低くさせ、手のひらで肩甲骨と肩甲骨の間を強くたたき異物を取り出します。もう一つの方法は、② 腹部突き上げ法を試してみます。腹部突き上げ法は、

② 腹部突き上げ法



上腹部を圧迫して、肺の中の空気を使って喉の詰まった物を押し出し気道を確保する方法です。具体的には、1 患者の後ろに回り、腰の近くに両手を回します。2 左手で握りこぶしを作り、右手でこぶしを包みます。3 みぞおちのあたりを手前上方に圧迫するように突き上げます。

※なおこの方法は、妊婦や乳児には行えません。それと、救急隊が到着したらこの方法を実施したことを必ず伝えて下さい。

⑤ 救急車、呼んでもいいの？

最近、熱中症で救急車の出動回数などがよく報道されますが、119番を呼ぼうかどうか迷うことがあります。そんな時には#7119に電話してみてください。今年の十月からですが、医師、看護師が救急車を呼ぶかどうか相談のつてくれます。

また、救急車を呼ぶ時には、必ず永平寺町の〇〇地区というふうに伝えて下さい。(最初に電話に出るのが、福井市の消防であったり、丸岡の消防であったりすることがあります。)

それと、よく言われることですが、救急車をタクシー替わりに呼ぶことは厳に(こ)つしむようにしましょう。



防災お役立ちコーナー
今回も紙面内容が盛りだくさんのため、お休みさせていただきま(す)。よろしくお願(い)います。

災害時における「自助」と「共助」の取り組みの強化を図ることを目的に防災研修会を実施（令和6年8月25日）

南越前町阿久和区

近年の気候変動から災害はいつ、どこで発生するかわからない＝備えが大事

そのために・・・

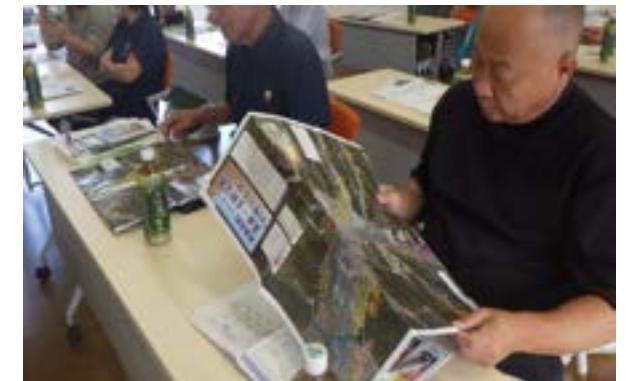
その1 まずは自分や家族の命を守るために

リスクを知る

防災に関する知識を得て災害時に適切に対応できる状態にすること、防災意識を高めて日頃から災害に備えて行動できるように研修を実施。



【災害時の情報収集の仕方の講習】



【ハザードマップの確認】

「どこへ逃げる？」「いつ逃げる？」かを考える

自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握して、災害時に自分自身がとる避難行動を時系列的に整理する。



【マイタイムラインを作成】

その2 近所や地域で助け合う

自分たちの地域は自分たちで守る

災害時には被害の軽減を図るために、隣近所で避難の呼びかけをしたり助け合うことの大切さを確認。また、大雨災害時の止水対策として土のうの積み方を学ぶ。

今回の参加者は自主防災組織の構成員が中心であったが、今後は地域の安全点検、危険が予想される箇所や避難行動要支援者の把握、防災資器材の整備、防災訓練の実施など、多くの住民に役割を持って参加してもらい、日頃から住民の防災意識を高めていきたい。



【土のう積み方の講習】

南越前町瀬戸区 防災訓練

訓練概要

- 日時： 2024年7月21日（日）8:00～9:30
- 訓練内容：
・ 参集訓練（安否確認）
・ 小型ポンプの操作確認と消火訓練
・ 区内の消火栓及びホース等の器具の点検確認

訓練目的

自助・共助・公助のうち、共助として自主防災組織を中心に、それぞれが役割を再確認し訓練にあたる。また、当区は高齢者世帯が多いため、避難時には周囲の安全を確認して高齢者世帯への声掛けを率先して行い、避難誘導を促す。

活動内容

- ・ 今回の訓練では、16世帯30人の参加があった。
- ・ まず参集訓練として、各家庭より集落センターに集合。区長に避難人員の報告を行い安否確認を行った。
- ・ 参集訓練の後、それぞれの担当班ごとに分かれ、小型ポンプの操作確認と消火訓練の実施。また、区内の消火栓及びホース等の器具の点検確認を行い、それぞれが真剣に取り組み訓練にあたった。

成果と今後の課題

- ・ 今回の防災訓練を通して、改めて改善が必要な点など確認する事ができた。改善点については早期に協議し改善を行い、区民全員に周知していく。
- ・ 今回は火災消火訓練が主であったが、次回からは土のう作りなど水害対策訓練などを行い、区民一人一人の防災に対する意識向上に努めていきたい。



松岡吉野集落センター







松岡御陵地区防災訓練(松岡御陵自主防災組織連絡協議会)

◇訓練概要

訓練日：令和6年6月9日(日) 午前7時 ～ 午前9時

災害想定：風水害での警戒レベル4相当

内容：午前7時のサイレン吹鳴で訓練を開始。初めに区民は、班ごとに安否確認(無事旗の確認)後、区内の一時避難場所に集合してから指定避難所である松岡御陵農業構造改善センターに避難。参集後は、地区毎に受付を行い、会場内を4つに分けて訓練等を実施。

(地区訓練) 避難訓練(安否確認) (全体訓練) LINEによる避難所受付

- ① 心肺蘇生法訓練
- ② ドローンによる情報確認
- ③ 災害救助ロープワーク
- ④ 防災講話(能登半島地震)

(全体訓練)



◇地区の特徴と訓練内容

御陵地区は九頭竜川の右岸に位置し、洪水ハザードマップでは全域が浸水区域内で、毎年、この時期に防災訓練を実施している。今年度の訓練は、通常的心肺蘇生訓練の外に、災害協定を結んでいる地域の日本商運(株)からドローンによる災害情報収集方法や自衛隊福井地方協力本部からは災害時のロープ使用方法をまた、町職員からは能登半島地震での実際の避難所等の状況を確認するなど住民体験型訓練を行いました。

◇訓練の成果

当日は、約150名の参集があり、訓練では自分自身や家族、区民全体の安全を確認した後、「来て・見て・体験できる」住民体験型の訓練を推進し、自分自身でできる防災活動が強化され、地域の防災力の向上が図られた。



浅見区 防災訓練 (浅見自主防災会)

【概要】

日時：令和6年7月27日(土) 7:00~9:00
内容：避難訓練(安否確認)・土のう作り及び設置訓練
地上式消火栓操作・放水訓練

【目的】

大規模災害では、地域の支え合いや助け合いが大変重要と言われており、浅見区でも共助の中で自主防災会を中心に区民の初動体制を確認した。特に、能登半島地震では大規模な火災も発生しており、放水訓練を行い初期消火活動を通じて区民の連帯感を図る。

安否確認



地上式
消火栓操作



放水訓練



【活動内容】

- ・訓練では、45世帯中41世帯、70名の参加がありました。浅見区では日中、若い人は仕事で不在となり、残っている高齢者に災害時の活動が求められている。
- ・訓練当日は、落ち着いて家族の安否を確認し無事旗を玄関先に掲げ、一時避難所のセンターへ参集。班長は班毎に安否確認を行い、区長に報告し初動の避難訓練とした。
- ・永平寺町消防職員の方を講師に、地上式消火栓の操作説明や放水訓練を行い次に、土のう製作や積み方の実践を行った。

【成果と展望】

- ・訓練を通して、ホースの連結や脱着など区民から興味深い意見や質問がたくさんあり、多くの事が共有でき、区民の防災意識も高まった。
- ・今後は、先ず「自分の身は自分で守る」次に「私たちの地域はみんなで守る」を合言葉に、より現実的な災害に直結した防災訓練を行い、一人ひとりの防災意識を高めると共に、浅見区独自の地域づくりを推進し、災害対策に取り組んでいきたい。